



特集

「小6 統一合判」3

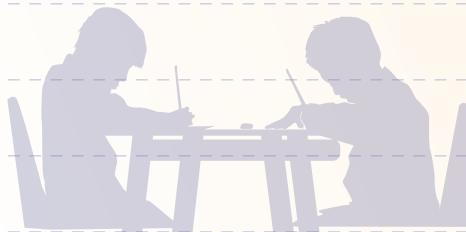
中学入試レポート vol.

どうなる2017年入試？

最新の志望動向から探る 入試予測と併願校選びのポイント

6年生の統一合判テストもこれで3回目。大勢の仲間が集まって力を競う、こうしたテストの雰囲気や形式に、ようやく慣れてきた受験生も多いと思う。来年2月の入試本番まで残り5か月足らず。いよいよこれからが、入試に即した実戦的な力を身につける段階だ。一方で保護者の皆さんは、わが子の受験校を固めていく時期になった。

そこで今回は、この9月までに明らかになった志望動向（7月「統一合判」の前年比較）を踏まえて、来春2017年の入試状況をできる範囲で予想しながら、併願校選びのポイントをお伝えしていこう。



首都圏模試センター

**慶應普通部、武蔵、早稲田実業などが人気増加。
芝浦工大①をはじめ大学付属校が全体に人気増。**

先の7月「統一合判」の受験者数は、計11,499名（男子5,229名、女子6,270名）で、昨年7月の受験者数11,256名の102%に増加した。この動きを見る限り、来春2017年首都圏中学入試の受験者数は、3年続きで増加する可能性が大きくなった。

そうしたなかで、この時点での志望者が前年比100%を超えて増加している学校は、人気増加傾向と考えることができる。その点を踏まえて、個々の人気動向を見ていこう。

まず、男子の2月1日入試校の目立った動向を右の表に紹介した。

男子の最難関グループでは慶應普通部、武蔵、早稲田高等学院、桐朋①が、やや志望者増。逆に開成、早稲田①、渋谷教育学園渋谷①は減少が目立つ。駒場東邦、海城①は微減。麻布はほぼ横ばいだ。共学校の早稲田実業は志望者増。

これに続く、サレジオ学院A、本郷①、城北①、巣鴨①は志望者が増加。逆に芝①、逗子開成①は、やや減少が目立つ。世田谷学園①、攻玉社①は微減。共学校の広尾学園は微減。男女別学（併学）の国学院久我山は増加が目立っている。この1～2年人気の増加が目立った成城①は、今年も志望者増加傾向にある。

そのほか2月1日の男子では、法政大学①、穎明館①、成蹊①などが人気増加。来春2017年から豊洲の新キャンパスに移転する芝浦工業大学附属



は、ま
れた
来春
教育
環境
を整
えた
人気
増加
傾向
。20
15年
2月
には
新校
舎も
完成
して
恵
普通
部

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較（一部抜粋）
日程（AM・PM）別 偏差値順 ●=男子校／○=共学校
これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月 予想 偏差値	学校名	7月志望者数（名）		前年7月比 増減（%）
		2016年	2015年	
男子 2月1日 AM				
77	● 開成	102	150	▲ 48（ 68%）
74	● 麻布	101	102	▲ 1（ 99%）
74	● 駒場東邦	51	59	▲ 8（ 86%）
73	● 慶應普通部	143	132	△ 11（ 108%）
72	● 海城①	122	136	▲ 14（ 90%）
72	● 武蔵	92	81	△ 11（ 114%）
72	● 早稲田①	142	162	▲ 20（ 88%）
72	○ 早稲田実業	142	108	△ 34（ 131%）
70	○ 渋谷教育渋谷①	54	73	▲ 19（ 74%）
69	● 芝①	276	315	▲ 39（ 88%）
69	● 早稲田大学高等学院	129	108	△ 21（ 119%）
68	● サレジオ学院A	130	111	△ 19（ 117%）
68	● 逗子開成①	166	182	▲ 16（ 91%）
66	● 桐朋①	150	142	△ 8（ 106%）
66	○ 広尾学園①	103	107	▲ 4（ 96%）
66	● 本郷①	306	272	△ 34（ 113%）
64	● 城北①	217	195	△ 22（ 111%）
64	● 世田谷学園①	134	136	▲ 2（ 99%）
64	○ 中央大附①	155	157	▲ 2（ 99%）
63	● 攻玉社①	233	242	▲ 9（ 96%）
63	○ 国学院久我山①	168	131	△ 37（ 128%）
63	● 巣鴨①	166	139	△ 27（ 119%）
63	○ 中央大附横浜①	226	235	▲ 9（ 96%）
61	● 成城①	326	303	△ 23（ 108%）
61	○ 法政大学①	147	133	△ 14（ 111%）
58	○ 穎明館①	82	54	△ 28（ 152%）
58	○ 成蹊①	159	144	△ 15（ 110%）
57	○ 順天①A	130	111	△ 19（ 117%）
57	○ 都市大等々力①	173	144	△ 29（ 120%）
56	○ 三田国際①本科	105	80	△ 25（ 131%）
56	○ 明中八王子A①	132	97	△ 35（ 136%）
55	● 獨協①	246	193	△ 53（ 127%）
53	● 芝浦工大附①	414	289	△ 125（ 143%）
52	○ 日大第二①	225	187	△ 38（ 120%）
50	○ 開智日本橋学園①	82	42	△ 40（ 195%）
男子 2月1日 PM				
70	● 鎌倉学園（算数）	39	49	▲ 10（ 80%）
68	● 東京都市大付①II	54	52	△ 2（ 104%）
68	○ 広尾②インター	15	19	▲ 4（ 79%）
67	○ 広尾学園②	51	60	▲ 9（ 85%）
66	○ 国学院久我山S T①	96	51	△ 45（ 188%）
66	● 東京都市大付①I	162	158	△ 4（ 103%）
65	○ 東京農大①	159	163	▲ 4（ 98%）
60	○ 日本大学A②NS	※116	—	△ 116（ — ）
59	● 足立学園（特奨①）	77	69	△ 8（ 112%）
57	○ 三田国際②本科	74	52	△ 22（ 142%）
55	● 俊成学園①特奨	32	26	△ 6（ 123%）
53	○ 開智日本橋②特待	76	42	△ 34（ 181%）
52	○ 工学院①B特待	34	22	△ 12（ 155%）
52	○ 東洋大学京北②	82	91	▲ 9（ 90%）

「※」印は2017年新設校、または新設入試



桐朋では2015年6月に中学棟新校舎も完成してキャンパスの理想に向けて再スタートを切った。

①は大幅な人気増。全回の入試で志望者が増加している。獨協①も今年は人気増加に転じている。

2年続きで大人気だった三田国際学園①本科、開智日本橋①は、今年も引き続き人気増加が目立ち、中学受験生の保護者の「21世紀型教育」や「アクティブラーニング」に向ける期待の大きさを物語っている。

表中にもいくつか見られるように、今年も大学付属校が全体的に人気増加傾向にあり、「2020年大学入試改革」を契機に、再び大学付属校の魅力が注目されたのか、明治大学、法政大学、日本大学、芝浦工業大学などの付属校の人气が目立っている。

神奈川では栄光学園の志望者が増加。 この2月2日でも大学付属校が人気増！

次に2日入試の動向を見ていこう。

この2日入試の最難関に位置する聖光学院①が、今年も難化を敬遠されてか志望者減。逆に栄光学園は志望者をやや増加させている。

そして大学付属校では、慶應湘南藤沢を筆頭に、東京都内でも青山学院、明治大学付属明治①、学習院①、明治大学付属中野①、国学院久我山②、芝浦工業大学附属②などがいずれも志望者増。とくに芝浦工業大学附属②の大幅な人気増加が目立つ。例外的に立教池袋①の志望者減少が目立っている。神奈川では今春からの共学化で人気増加が目立った法政大学第二①が、その反動からか今年には逆に志望者減。難化が敬遠されたものと思われる。

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較（一部抜粋）

日程(AM・PM)別 偏差値順

●=男子校 / ○=共学校

これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月 予想 偏差値	学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
		2016年	2015年	
男子 2月2日 AM				
76	● 聖光学院①	57	65	▲ 8 (88%)
75	● 栄光学園	86	70	△ 16 (123%)
75	○ 渋谷教育幕張②	23	35	▲ 12 (66%)
73	○ 渋谷教育渋谷②	38	25	△ 13 (152%)
72	○ 慶應湘南藤沢	95	85	△ 10 (112%)
69	● 桐朋②	85	60	△ 25 (142%)
69	● 本郷②	139	119	△ 20 (117%)
68	● 攻玉社②	85	82	△ 3 (104%)
67	○ 明治大明治①	158	152	△ 6 (104%)
67	● 鎌倉学園①	125	162	▲ 37 (77%)
66	● 東京都市大付② I	70	63	△ 7 (111%)
65	● 世田谷学園②	89	72	△ 17 (124%)
65	● 立教池袋①	163	203	▲ 40 (80%)
64	○ 青山学院	295	208	△ 87 (142%)
64	● 学習院①	117	84	△ 33 (139%)
64	● 城北②	116	116	△ 0 (100%)
64	● 高輪 B	127	128	▲ 1 (99%)
63	● 巣鴨②	97	67	△ 30 (145%)
62	○ 神奈川大附 A	223	200	△ 23 (112%)
62	○ 法政第二①	426	493	▲ 67 (86%)
61	● 東京都市大付 G L	21	15	△ 6 (140%)
60	○ 穎明館②	56	36	△ 20 (156%)
59	○ 都市大等々力②	64	42	△ 22 (152%)
59	● 明大中野①	507	482	△ 25 (105%)
58	○ 国学院久我山②	137	109	△ 28 (126%)
57	○ 森村学園②	65	49	△ 16 (133%)
55	● 芝浦工大附②	237	162	△ 75 (146%)
53	● 獨協②	158	131	△ 27 (121%)
41	○ 日大第一② 4科	100	98	△ 2 (102%)
男子 2月2日 PM				
67	○ 中央大附横浜②	178	180	▲ 2 (99%)
66	○ 広尾 (医進サイ)	54	44	△ 10 (123%)
65	● 高輪 (算数)	79	91	▲ 12 (87%)
65	○ 東京農大一②	93	61	△ 32 (152%)
64	● 桐蔭中等② PM	40	26	△ 14 (154%)
59	○ 山手学院 B	113	87	△ 26 (130%)
56	○ 淑徳②スーパー特進	64	38	△ 26 (168%)
55	○ 三田国際③本科	66	38	△ 28 (174%)
50	● 聖学院②特アド	35	27	△ 8 (130%)
49	○ 開智日本橋③	55	26	△ 29 (212%)
46	○ 桐蔭学園② PM	73	54	△ 19 (135%)
44	● 日大豊山②	187	161	△ 26 (116%)

今春から2回目入試として新設された桐朋②の志望者は、前年の60名から85名に増加。昨年6月には中学棟の新校舎も完成させ、最新の設備を備えた素晴らしい教育環境が整い、「次の学びプロジェクト」も本格始動しているだけに、今後さらに志望者が増えてくることが予想

される。来年も注目校であることは間違いない。

本郷②、世田谷学園②、巣鴨②は志望者が増加。獨協②も人気復活。攻玉社②、城北②は前年並みの志望者数を維持している。

このほか、表中にはないが、来春2017年から2月2日AMに入試日変更した聖学院の思考力入試が志望者を増やしている点に注目したい。この1～2年、面倒見の良さや進学実績の躍進が注目されている佼成学園も全体に人気増。

**最難関の筑波大駒場が志望者増。
横浜サイエンスフロンティアの志望者は61名に。**

続いて2月3日入試では、首都圏最難関の筑波大駒場が志望者増。海城②、早稲田②、暁星など男子校の進学校が人気増加傾向にある。ただし浅野はほぼ昨年並みにとどまっている。来春新設の横浜サイエンスフロンティアは61名の志望者で、平均偏差値も58.7と、同じ横浜市立の公立中高一貫校である市立南を上回っていることに注目したい。

慶應中等部の志望者はほぼ昨年並み。明大明治②、逗子開成②、横浜市立南の志望者はやや減少している。そのほか都立の中高一貫校の志望者が半数は減少傾向にあることも注目される。ただし(表にはないが)、都立・立川国際、三鷹は志望者増。

3日午後では、国学院久我山ST②、足立学園(特奨③)、三田国際学園④本科、聖学院③(特待アドバンス)などが志望者増。

後半戦では、4日の成蹊②、高輪C、森村学園③



来春2017年4月に豊洲の新キャンパス・新校舎に移転。校名も変更も「国算理」の3科目に！

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較(一部抜粋)
日程(AM・PM)別 偏差値順 ●=男子校/○=共学校
これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月 予想 偏差値	学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
		2016年	2015年	
男子 2月3日 AM				
78	● 筑波大駒場	60	44	△ 16 (136%)
73	● 海城②	68	62	△ 6 (110%)
73	● 早稲田②	85	68	△ 17 (125%)
72	○ 筑波大学附属	55	47	△ 8 (117%)
72	● 浅野	228	229	▲ 1 (100%)
71	○ 慶應中等部	160	156	△ 4 (103%)
70	○ 横浜サイエンス	※ 61	-	△ 61 (-)
69	○ 明治大明治②	63	71	▲ 8 (89%)
69	● 逗子開成②	58	71	▲ 13 (82%)
69	○ 横浜市立南	71	94	▲ 23 (76%)
68	○ 東京都立小石川	87	82	△ 5 (106%)
65	○ 東京都立両国	66	63	△ 3 (105%)
65	○ 神奈川県立相模原	76	73	△ 3 (104%)
64	● 暁星	118	103	△ 15 (115%)
63	○ 東京都立桜修館	37	69	▲ 32 (54%)
63	○ 東京都立白鷗	62	63	▲ 1 (98%)
62	● 学習院②	79	76	△ 3 (104%)
62	● 成城②	241	277	▲ 36 (87%)
男子 2月3日 PM				
63	○ 国学院久我山ST②	50	35	△ 15 (143%)
55	● 足立学園(特奨③)	24	13	△ 11 (185%)
55	○ かえつ2/3PM	35	27	△ 8 (130%)
53	○ 三田国際④本科	78	33	△ 45 (236%)
47	● 聖学院③特アド	35	19	△ 16 (184%)
男子 2月4日 AM				
76	● 聖光学院②	38	53	▲ 15 (72%)
70	● 芝②	125	148	▲ 23 (84%)
68	● サレジオ学院B	83	95	▲ 12 (87%)
65	● 鎌倉学園②	79	93	▲ 14 (85%)
64	● 世田谷学園②	56	48	△ 8 (117%)
64	○ 東京農大一③	81	84	▲ 3 (96%)
63	○ 中央大附②	110	107	△ 3 (103%)
62	○ 成蹊②	129	87	△ 42 (148%)
61	● 明大中野②	265	260	△ 5 (102%)
61	○ 法政第二②	289	280	△ 9 (103%)
59	● 高輪C	164	130	△ 34 (126%)
59	○ 森村学園③	69	43	△ 26 (160%)
57	● 芝浦工大③	190	169	△ 21 (112%)
男子 2月5日 AM				
70	● 本郷③	71	83	▲ 12 (86%)
67	○ 広尾学園③	37	43	▲ 6 (86%)
67	● 逗子開成③	91	94	▲ 3 (97%)
64	● 立教池袋②	123	111	△ 12 (111%)
63	● 成城③	134	120	△ 14 (112%)
58	○ 国学院久我山③	146	118	△ 28 (124%)
57	○ 明中八王子B	※ 66	-	△ 66 (-)
男子 2月6日 AM				
64	● 東京都大付④I	50	50	△ 0 (100%)
63	○ 山手学院(後期)	46	55	▲ 9 (84%)
51	○ 関東学院②	78	62	△ 16 (126%)

「※」印は2017年新設校、または新設入試



などが志望者増。5日の大学付属各校も志望者増。この1～2年の「大学付属校人気」は、来春2017年入試でも受け継がれる可能性が高そうだ。

2月1日、女子最難関校は人気安定。

鷗友学園、共立女子、青山学院横浜英和が人気増

続いて女子の2月1日入試校を見ていこう。

今春2016年は、その前年の「サンデーショック」の“揺り戻し”の影響が出る年であったため、いくつかの学校で志望者が大幅に増減する傾向にあったが、来春2017年入試に向けては例年並みの人気・難度に戻っていると考えてよい。

2月1日の難関校グループでは、桜蔭、女子学院、雙葉、渋谷教育学園渋谷①、早稲田実業、フェリス女学院など、いずれもほぼ昨年並みの志望者で安定。今春2016年から入試回数を3回から2回に減らし、①2月1日、②2月3日の2回に優秀生を集めた鷗友学園①は、来春に向けても志望者増。吉祥女子①も人気を増加させている。逆に洗足学園①はやや志望者減。頌栄女子学院①、香蘭女学校は志望者の減少が目立つ。立教女学院、東洋英和女学院A、日本女子大学附属①は、昨年とほぼ横ばいの人気となっている。

大学付属校の学習院女子Aは大幅な志望者増。ほかに大学付属校では、成蹊①、法政大学①、中央大学附属①、成城学園①、明大中野八王子A①、国学院久我山①などが、いずれも人気増加。中央



来春2017年から中学を開設し、県内大立5校目の公立中高一貫校となる横浜市の私立サウスフロンティア高校附属中。人気となる可能性大！

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較〈一部抜粋〉

日程(AM・PM)別 偏差値順 ●=女子校/○=共学校

これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月予想偏差値	学校名	7月志望者数(名)		前年7月比増減(%)
		2016年	2015年	
女子 2月1日 AM				
76	● 桜蔭	60	65	▲ 5 (92%)
74	● 女子学院	97	105	▲ 8 (92%)
73	● 雙葉	68	66	△ 2 (103%)
72	○ 渋谷教育渋谷①	67	60	△ 7 (112%)
72	○ 早稲田実業	68	60	△ 8 (113%)
71	● フェリス女学院	76	79	▲ 3 (96%)
69	● 洗足学園①	150	173	▲ 23 (87%)
67	● 鷗友学園①	147	117	△ 30 (126%)
67	● 吉祥女子①	176	152	△ 24 (116%)
67	● 頌栄女子学院①	118	139	▲ 21 (85%)
66	○ 広尾学園①	138	129	△ 9 (107%)
65	● 学習院女子A	120	75	△ 45 (160%)
65	● 立教女学院	154	154	△ 0 (100%)
65	○ 中央大附横浜①	214	186	△ 28 (115%)
65	● 横浜共立A	126	129	▲ 3 (98%)
65	● 横浜雙葉	97	67	△ 30 (145%)
64	○ 成蹊①	114	96	△ 18 (119%)
64	● 東洋英和A	155	156	▲ 1 (99%)
64	○ 法政大学①	120	100	△ 20 (120%)
63	○ 中央大附①	194	149	△ 45 (130%)
63	● 日本女子大附①	136	130	△ 6 (105%)
62	● 大妻①	335	308	△ 27 (109%)
62	○ 森村学園①	118	89	△ 29 (133%)
61	● 品川女子①	315	309	△ 6 (102%)
60	● 共立女子A	399	347	△ 52 (115%)
60	● 普連土学園①	149	147	△ 2 (101%)
60	○ 公文国際学園A	42	17	△ 25 (247%)
59	● 香蘭女学校	369	383	▲ 14 (96%)
59	○ 成城学園①	199	142	△ 57 (140%)
59	○ 明中八王子A①	103	64	△ 39 (161%)
59	○ 国学院久我山①	111	66	△ 45 (168%)
58	○ 淑徳①スーパー特進	105	94	△ 11 (112%)
58	● 青山学院横浜英和A	212	104	△ 108 (204%)
56	○ 三田国際①本科	124	111	△ 13 (112%)
48	○ 東洋大学京北①	116	109	△ 7 (106%)
43	● 十文字①スーパー	161	138	△ 23 (117%)
女子 2月1日 PM				
67	○ 広尾学園②	93	61	△ 32 (152%)
66	○ 東京農大一①	123	135	▲ 12 (91%)
64	○ 国学院久我山ST①	76	51	△ 25 (149%)
63	○ 都市大等々力①S特	46	24	△ 22 (192%)
60	● 大妻中野②アド	229	211	△ 18 (109%)
59	● 神奈川学園A・P	134	99	△ 35 (135%)
59	● 清泉女学院②	※ 38	—	△ 38 (—)
57	○ 桜美林1日PM	96	47	△ 49 (204%)
53	○ 開智日本橋②特待	68	59	△ 9 (115%)
53	○ 関東学院①B	92	58	△ 34 (159%)
51	● 八雲学園①	139	143	▲ 4 (97%)
50	○ 東洋大学京北②	64	50	△ 14 (128%)
48	● 東京家政大附②特	77	54	△ 23 (143%)

「※」印は2017年新設校、または新設入試

大学横浜①も志望者増が目立つ。正式には今春から青山学院大学の教育提携校となった青山学院横浜英和は、2018年からの共学化を前に、来春2017年入試に向けてもさらに大幅な志望者増。3年続きで人気・難度とも上昇する可能性が大きい。

ほかに神奈川では、横浜雙葉、公文国際学園Aも志望者を増加させている。

そのほか、大妻①、森村学園①、共立女子Aなども人気増、なかでも、昨年から今春にかけてオープンな情報発信を重ねてきた共立女子の人気増加が目立っている。

このほか、女子の受験校にも男子と同様に、開智日本橋学園、三田国際学園、(表にはないが)順天など、いわゆる「21世紀型教育」の導入推進校や、改革を重ねる大妻中野や山脇学園などのグローバル入試、大学付属各校の志望者がじわじわと増加する傾向が見られることに注目しておきたい。

**2日も最難関グループの人気は高位安定。
全体に大学付属校の人気増加傾向が目立つ。**

2月2日入試の女子最難関グループでは、豊島岡女子学園①、渋谷教育学園渋谷②、慶應湘南藤沢、明大明治①などが安定人気で、ほぼ昨年並みの志望者数。それに続く難度の洗足学園②の志望者がやや減っている。

白百合学園、青山学院、吉祥女子②は志望者が増加。神奈川大附属A、法政大学第二①の志望者の増加も目立っている。同じ2日の午後では、中央大学横浜②や青山学院横浜英和Cの志望者増加も目立っており、やはり神奈川では、今春からの法政大学第二の共学化の影響も加わり、大学付属校人気が上向いていると見てよいだろう。

このほか神奈川エリアでは、森村学園②、神奈川学園Bなども人気の増加が目立っている。

午後入試では、広尾学園、桜美林、山手学院などが志望者を増加させている。そのほかにも、新たな入試やクラス編成(コース制)などの改革を打

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較(一部抜粋)
日程(AM・PM)別 偏差値順 ●=女子校/○=共学校
これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月 予想 偏差値	学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
		2016年	2015年	
女子 2月2日 AM				
74	● 豊島岡女子①	107	105	△ 2 (102%)
72	○ 渋谷教育渋谷②	31	27	△ 4 (115%)
72	○ 慶應湘南藤沢	85	77	△ 8 (110%)
70	● 洗足学園②	103	116	▲ 13 (89%)
69	● 白百合学園	63	38	△ 25 (166%)
69	○ 明大明治①	105	102	△ 3 (103%)
68	○ 青山学院	247	210	△ 37 (118%)
68	● 吉祥女子②	90	77	△ 13 (117%)
64	● 鎌倉女学院①	131	125	△ 6 (105%)
63	○ 神奈川大附A	176	130	△ 46 (135%)
63	● 湘南白百合	71	57	△ 14 (125%)
63	○ 法政第二①	248	174	△ 74 (143%)
60	● 品川女子②	229	219	△ 10 (105%)
59	● 田園調布②	115	128	▲ 13 (90%)
58	○ 森村学園②	103	44	△ 59 (234%)
57	● 恵泉女学園A①	241	223	△ 18 (108%)
57	● 山脇学園B	238	243	▲ 5 (98%)
55	● 神奈川学園B	126	105	△ 21 (120%)
50	● 三輪田学園②	163	149	△ 14 (109%)
45	● 桐朋女子(論理&発想)	※ 23	-	△ 23 (-)
43	● 十文字③スーパー	86	75	△ 11 (115%)
女子 2月2日 PM				
66	○ 広尾(医進サイ)	46	29	△ 17 (159%)
66	● 普通士学園②	104	111	▲ 7 (94%)
66	○ 中央大附横浜②	163	133	△ 30 (123%)
62	● 青山学院横浜英和C	140	111	△ 29 (126%)
61	● 東京女学館③	88	100	▲ 12 (88%)
60	○ 山手学院B	62	52	△ 10 (119%)
59	● 大妻中野③アド	177	179	▲ 2 (99%)
55	○ 三田国際③本科	79	55	△ 24 (144%)
53	○ 桜美林2日PM	56	36	△ 20 (156%)
52	○ 桐蔭学園②PM	42	28	△ 14 (150%)
50	● 聖園女学院④	58	45	△ 13 (129%)
49	○ 開智日本橋③	76	35	△ 41 (217%)
47	● 十文字(チャレンジ)	55	38	△ 17 (145%)
42	● 文京学院女子③	51	25	△ 26 (204%)

「※」印は2017年新設校、または新設入試



今春2016年からは入試回数を3回
↓2回に減らしたが、それでも多くの優
秀生の人気を集めた鶴友学園女子。



ち出した聖園女学院や十文字などの女子進学校にも受験生と保護者の期待や注目が集まり、人気を高めていることに注目したい。

女子の3日以降でも大学付属校が人気。 後半戦にも合格のチャンスがあると考えよう！

続いて2月3日入試校では、全体に大学付属校の人気増加が目立つなかで、最難関に位置する慶應中等部の志望者も目立って増加。豊島岡女子学園②、鷗友学園②、横浜共立学園Bは、いずれもほぼ昨年並みの志望者。

明治大学付属明治②、学習院女子B、東洋英和女学院B、日本大学第二②は志望者が増加。右の表中にはないが、法政大学②、明大中野八王子A②、成城学園②も、わずかながら志望者を増やしている。

来春新設の横浜サイエンスフロンティアの女子の志望者は43名。男子ほど同じ横浜市立南の人気に迫ってはいないものの、平均偏差値は南を上回っている点では男子と共通だ。やはり注目の存在といえるだろう。

このほか表中にない女子校でも、3日午後到新設される聖園女学院の総合型入試や、文京学院大学女子④など新たな入試形態、コース・教育体制で意欲ある受験生を迎え入れようとしている学校が、じわじわと人気を集めている点にも注目したい。2月4日以降の後半戦にも、「良い学校に合格できる」チャンスが数多くあることを意識しておきたい。

7月度小6「統一合判」模試志望者数 前年比較（一部抜粋）

日程(AM・PM)別 偏差値順

●=女子校 ○=共学校

これ以外の各校の志望者数はWebサイト「度数分布表」をご覧ください

7月 予想 偏差値	学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
		2016年	2015年	
女子 2月3日 AM				
74	○ 慶應中等部	69	57	△ 12 (121%)
74	● 豊島岡女子②	32	31	△ 1 (103%)
70	● 鷗友学園②	61	59	△ 2 (103%)
70	● 横浜共立B	87	80	△ 7 (109%)
70	○ 横浜サイエンス	※ 43	—	△ 43 (—)
69	○ 明治大明治②	50	29	△ 21 (172%)
69	○ 横浜市立南	99	97	△ 2 (102%)
67	● 学習院女子B	55	45	△ 10 (122%)
66	● 東洋英和B	99	84	△ 15 (118%)
66	○ 東京都立小石川	94	52	△ 42 (181%)
65	○ 東京都立桜修館	100	86	△ 14 (116%)
65	○ 神奈川県立相模原	90	54	△ 36 (167%)
52	○ 日大第二②	188	131	△ 57 (144%)
51	● 大妻中野④アド	141	119	△ 22 (118%)
女子 2月3日 PM				
62	○ 国学院久我山S T②	55	42	△ 13 (131%)
53	○ 三田国際④本科	84	42	△ 42 (200%)
45	○ 開智日本橋④	44	25	△ 19 (176%)
44	● 女子聖学院④	39	32	△ 7 (122%)
43	● 聖セシリアA③	78	69	△ 9 (113%)
女子 2月4日 AM				
69	● 吉祥女子③	75	55	△ 20 (136%)
64	○ 成蹊②	100	113	▲ 13 (88%)
64	○ 中央大附②	138	98	△ 40 (141%)
64	● 鎌倉女学院②	95	80	△ 15 (119%)
62	○ 法政第二②	156	127	△ 29 (123%)
60	● 品川女子③	107	83	△ 24 (129%)
60	○ 森村学園③	91	54	△ 37 (169%)
58	● 山脇学園C	214	178	△ 36 (120%)
54	● 恵泉学園A②	189	164	△ 25 (115%)
53	○ 日大藤沢②	115	74	△ 41 (155%)
50	● 大妻中野(新思考力)	※ 40	—	△ 40 (—)
女子 2月5日 AM・PM				
64	○ 法政大学③	82	62	△ 20 (132%)
58	○ 国学院久我山③	88	70	△ 18 (126%)
57	○ 明中八王子B (PM)	※ 67	—	△ 67 (—)

「※」印は2017年新設校、または新設入試

2017年入試を勝ち抜く「併願作戦」を立てるヒント

～ “合格” を引き寄せる5つのポイント～

ここでは、来春2017年入試で合格をつかむための「ベストな併願作戦を組み立てる」ためのヒント”を紹介しておこう。以下は第一志望だけではなく、すべての併願校を選んでいくためにも重要なことにほかならない。だからこそ、これから受験校選びをしていくうえで、あらためて意識すべきポイントとして参考にしていただきたい。

- (1) 少なくとも6校(6回)以上に出願し、合格を得るまで「受け抜く」覚悟を固める。
- (2) 上記(1)のことを実行するために、少なくとも10校以上の学校を見学する。
- (3) 親子で「これだけは譲れない」という学校選択の条件を絞り、それ以外は柔軟に受験校を選ぶ。第2志望校以下は「親の責任で」選び、併願校に加える。
- (4) 併願校の難易度を上下幅広く選び、慎重かつ強気の組み合わせを考える。
- (5) どんな状態、コンディションでも、親子で「最後まで明るく」受験に挑む気持ちで。

